

## 日本英文学会第93回大会の実施方針について（4月13日改訂）

会員の皆様には、日頃より本学会の活動にご協力いただき、心より厚く御礼申し上げます。

日本英文学会第93回大会につきましては、先般、その実施方式について、対面方式での実施を前提としつつもオンラインによる同時配信をおこない、オンライン経由での出席を可能にする態勢を整える、ということをご案内致しました。そのことについては、会員の方々からも応援のメッセージなどをいただき、大会準備委員会や事務局ではその具体的な準備を始めておりました。しかしながらその後、感染症拡大はおさまらず、ご存知の通り、宮城県、大阪府、兵庫県をはじめ、4月9日には東京都、京都府、沖縄県にもまん延防止等重点措置の適用が発出される事態となりました。ワクチン接種が本格化するのも先のことであり、感染症拡大は引き続き予断を許さない状況と考えられます。また、こうした事態を受け、開催校である早稲田大学の学校法人からも、本学会全国大会のオンライン化をお願いできないかとの意向が伝えられました。これまで早稲田大学には、開催校として全面的にご協力をいただいていたのですが、今般の急激な感染拡大を踏まえてのことであり、開催校のご判断を尊重すべきと考えます。

つきましては、以上のような諸般の状況を考量し、今回の全国大会は、対面方式を中止とし、全面的にオンラインによる実施という形に変更致したいと考えます。その詳細につきましては、順次、学会ウェブサイトにて必要な情報をお知らせしつつ、登壇者をはじめ関係者の皆様への個別連絡をおこない、遺漏のないように備える所存です。昨年に引き続き、対面実施のメリットを全国大会において活かさないことは学会としても残念至極であり、また、実施方針の変更に伴うさまざまなご不便をお掛けすることにつきましては、深くお詫び申し上げます。どうか事情をご賢察いただき、困難の中ではありますが、実りある大会開催へ向けにご協力を賜りたく改めてお願い申し上げます。

オンライン開催ということになりますと、感染症拡大状況の急変にもある程度柔軟に対応できるかと思いますが、より強い外出規制等が発出された場合には、改めてまた対応を検討する事態も想定しておかなければなりません。その時にはすみやかに会員の皆様にご案内させていただきます。こうした状況下ではありますが、全国大会は、会員のみなさまの研究成果の発表と学術的交流の重要な場であり、また本学会の重要な活動の一つです。実施方針の変更にかかわらず、全国大会が有意義な場であり続けるよう、学会としても全力を尽くしてまいりたいと考えております。会員の皆様のご自愛を祈念しつつ、本学会へのお力添えを引き続きどうぞよろしくお願い致します。

2021年4月13日

一般財団法人 日本英文学会  
会長 原田範行